

このプリントでは、2021年2月14日に実施した文章読解・作成能力検定の4級の問題を使って、意見文の「事実」の書き方を説明します。検定問題は、協会HPよりダウンロードすることができます。

<https://www.kanken.or.jp/bunshouken/materials/example.html>

ステップ1 事実を思い出しながら、5W1H+結果メモを作ろう

意見文を書いているんだけど、「事実」が2行くらいで終わっちゃう。どうしたらもっと書けるようになるのかなあ。



5W1H（いつ、どこで、だれが、なにを、なぜ、どのように）と、その結果を意識して「事実」を思い出してみるといいよ。次のテーマで思いつく体験はあるかな？

テーマ 友だちから苦手なことに誘われたとき、断る方がいいか、断らない方がいいか

友人にオバケやしきに誘われて断ったことがあるわ。



じゃあその出来事で5W1Hメモを作ってみよう。5W1Hに加えて、「断ったあとどうなったか」も考えてみてね。

5W1H+結果メモ

いつ	先週の日曜日
どこで	遊園地
だれが	クラスで仲のよい友だち3人／わたし
なにを	オバケやしき
なぜ断った	怖い話が苦手だから
どのように	怖いからムリだと言った
どうなった	やっぱり行けばよかったと思った

作ったよ。



次は、このメモを使って文章を書こう。



ステップ2 5W1H+結果メモをもとに、事実の段落を書こう



ワーク1 上の5W1H+結果メモをもとに、文章を書いてみよう。

以前は、遊園地に行くには電車で1時間以上かかっていた。でも去年の秋に、わたしの家から歩いて15分くらいでいけるところに、新しい遊園地ができた。そこで、先週の日曜に、クラスの仲のよい友人であるカナちゃん、ユキちゃん、アイちゃんと、わたしの4人で行った。入園料は5000円もしたが、お年玉が残っていたので問題なかった。午前中は絶叫系の乗り物にみんなで乗って楽しく過ごした。午後になって一人の友人が、オバケやしきに入ろうと言い出したが断った。でも、やっぱり行けばよかったと思った。

書けた！



具体的にたくさん書けたね。でも、もったいないなあ。



え、どこが？



下線を引いた部分は、遊園地に行くことになったいきさつをくわしく書けているね。でも、今回のテーマで大事なのは、「断った」結果、「どんなこと」があって、「やっぱり行けばよかった」と思ったのか、という部分なんだ。意見につながるよう意識して書き直してみて。

下線部を消して、くわしく書きなおしてみたよ。



先週の日曜日、クラスの仲のよい友人3人とわたしの4人で遊園地に行った。午前中は絶叫系の乗り物にみんなで乗って楽しく過ごした。午後になって一人の友人が、オバケやしきに入ろうと言い出した。わたしはオバケが苦手だから、「怖いから無理」と断り、友人たちだけがオバケやしきに入ることになった。自分が断ったとはいえ、一人で待っているのはつまらなかった。それに、出てきた友人たちが、楽しそうにオバケやしきの話をしていても自分は話に加わることができず、午前中の楽しい気分もどこかに消えてしまった。こんなことなら、みんなといっしょにオバケやしきに行けばよかったと思った。

だれから、何に誘われたか

どう断ったのか

断った結果、どんなことが起こったのか



うん、「友人に苦手なことに誘われても断らない方がいい」という意見につながるってよく分かるようになったね。最後に、さっきと同じテーマで、自分の体験をもとにして「事実」を書く練習をしよう。

ステップ3 自分の体験をもとにして、「事実」を書いてみよう



ワーク2 5W1H+結果メモを作ろう

いつ
どこで
だれが
なにを
なぜ
どのように
どうなった



ワーク3 メモをもとに事実を書こう

うまく書けたかな？ これでこのプリントはおしまいだよ。おつかれさまでした。

